

FileMakerPro

脳卒中地域連携パス

- K-STREAM版/連結版 共通 -

【暗号化対応マニュアル】

< 2012. July >

◆ プラグインについて

- 出力データの暗号/解読化は以下バージョンより対応しています。
動作及び使用方法は、以下両システム共通となります。
 - ・脳卒中地域連携パスK-STREAM版v162～
 - ・脳卒中地域連携パス_DB連結版v105～
- FileMakerProで出力データの暗号/解読化には、専用のプラグインを必要とします。
本システムでは、「Troj_Encryptor (v2.5.2)」を使用します。

[Windowsアイコン]



[MacOSアイコン]



Troj_Encryptor.fmpugin

※ Windows版は「Windows Plug-in」フォルダ内、Mac版は「Mac OS Plug-in」フォルダ内のプラグインファイルを使用します。

- プラグインを「Extensions」フォルダの中に入れます。
(「Extensions」フォルダは、以下のフォルダ内にあります。)

【マルチユーザVer】

[WindowsXP]

・C:/Program Files/FileMaker/FileMaker Pro XX(ファイルメーカーフォルダ)/Extensions/

[Windows7]

・C:/Program Files(x86)/FileMaker/FileMaker Pro XX(ファイルメーカーフォルダ)/Extensions/

[MacOS]

・MacintoshHD/アプリケーション/FileMaker Pro XX(ファイルメーカーフォルダ)/Extensions/

【ランタイムVer】(※ランタイムバージョンv200以降は、標準でインストール済です。)

[Windows]

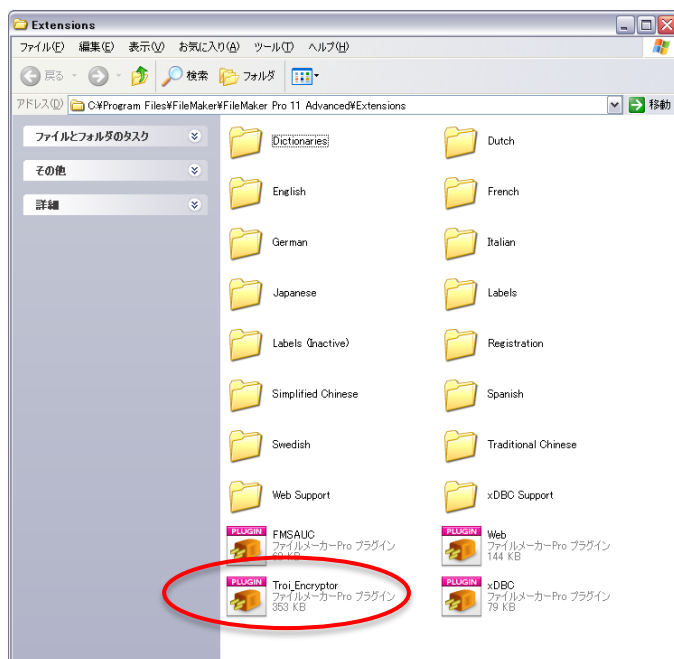
・ランタイム版(Win)/Extensions/

[MacOS]

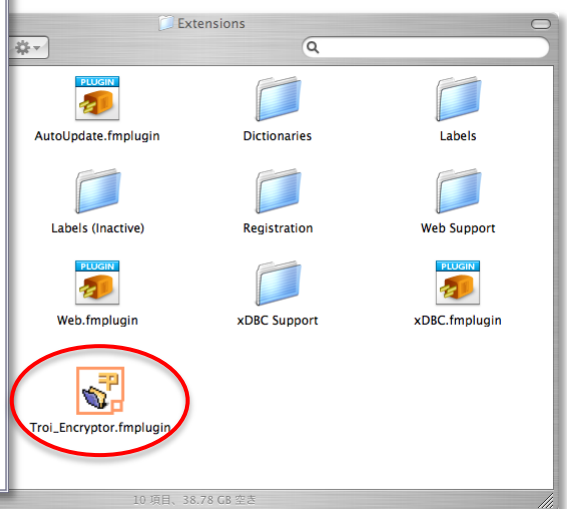
・ランタイム版(Mac)/Extensions/

※ 本システムで暗号化される個人情報は P3.「暗号化項目」ページに記載。

【Extensionsフォルダ (WindowsXP)】

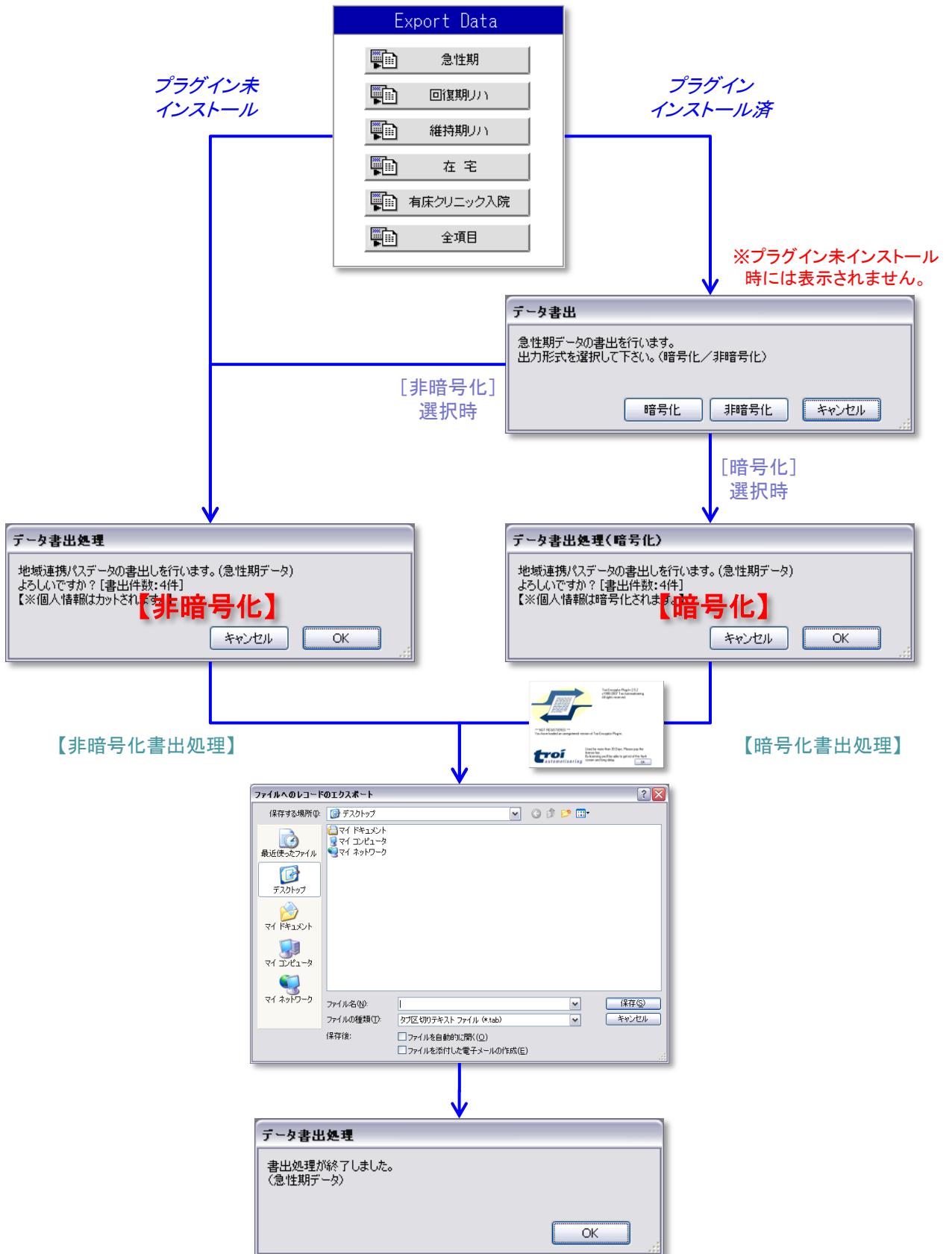


【Extensionsフォルダ (MacOS)】



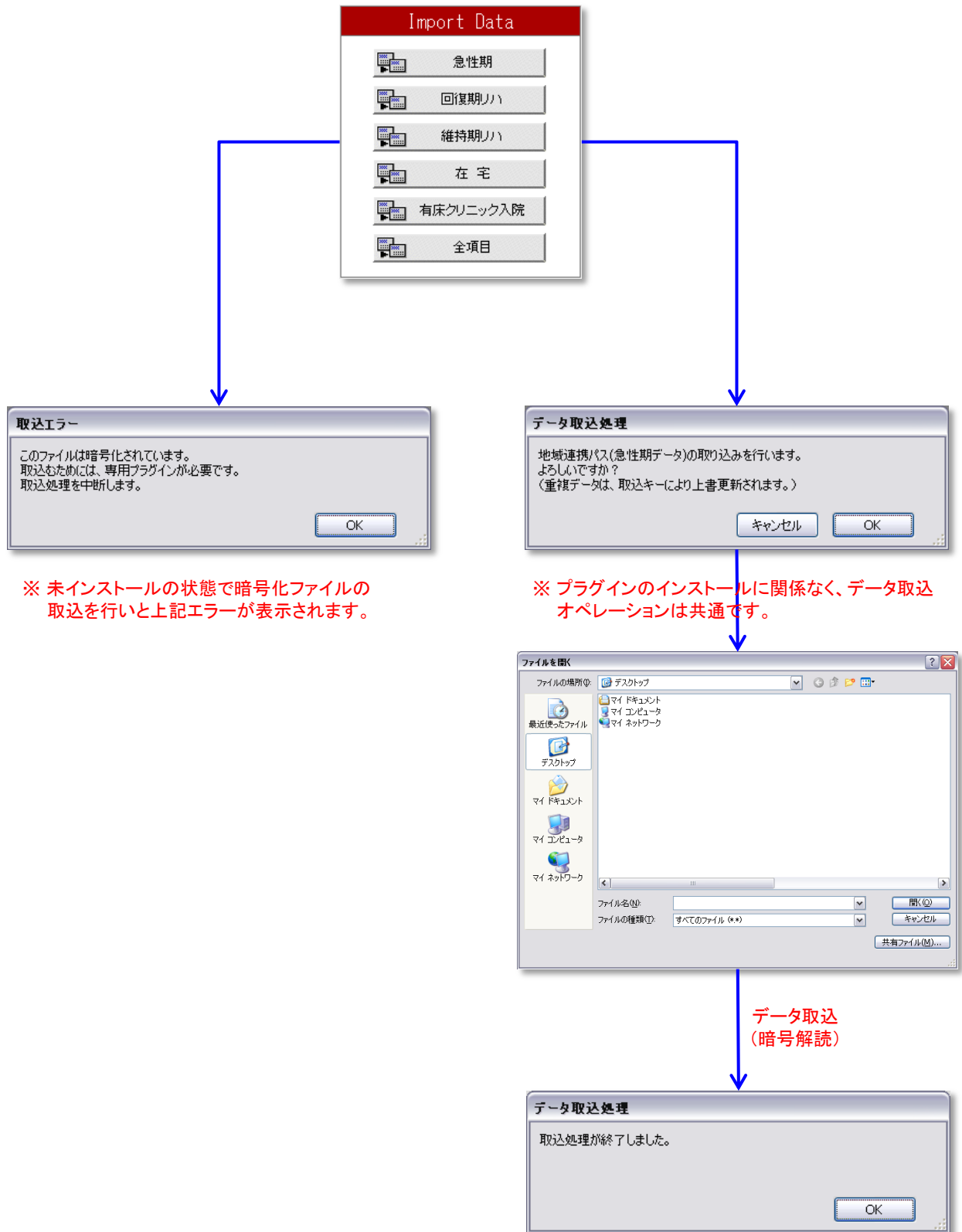
◆ データ書出方法

- データ書出処理は、以下の手順で行います。(K-STREAM版/連結版 共通)
プラグインがインストールされている場合、暗号化/非暗号化での出力方式が選択出来ます。



◆ データ取込方法

- データ取込処理は、以下の手順で行います。(K-STREAM版 / 連結版 共通)
プラグインがインストールされている場合、暗号化ファイルは自動で解読され取り込まれます。



◆ 暗号化項目

○ データの暗号化では、以下の項目が暗号化され書出されます。

[急性期]

- 急性期ID
- 施設名
- 主治医
- 入院日
- 退院日

[回復期リハ]

- 回復期ID1
- 施設名1
- 主治医1
- 入院日1
- 退院日1
- 回復期ID2
- 施設名2
- 主治医2
- 入院日2
- 退院日2

[維持期リハ・老健]

- 維持期ID1
- 施設名1
- 主治医1
- 入院日1
- 退院日1
- 維持期ID2
- 施設名2
- 主治医2
- 入院日2
- 退院日2

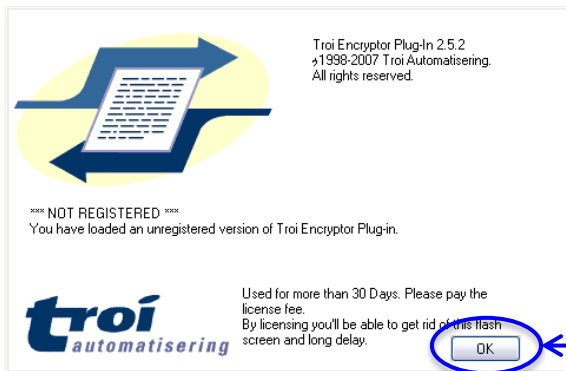
[自宅・在宅系]

- ID
- 施設名日

[有床クリニック入院]

- ID
- 施設名
- 主治医
- 入院日
- 退院日

※「氏名」「生年月日」は暗号化を選択しても書出しは行いません。



正常にプラグインがインストールされていれば、データの暗号化書出しを行った場合、左画面が表示されます。(不定期に表示されます。)

数秒すると「OK」ボタンが使用できるようになるので、「OK」ボタンをクリックして下さい。

○ 暗号化されたテキストファイルデータは、直接ファイルを開いても、以下のように特定の項目が文字として読めなくなります。

